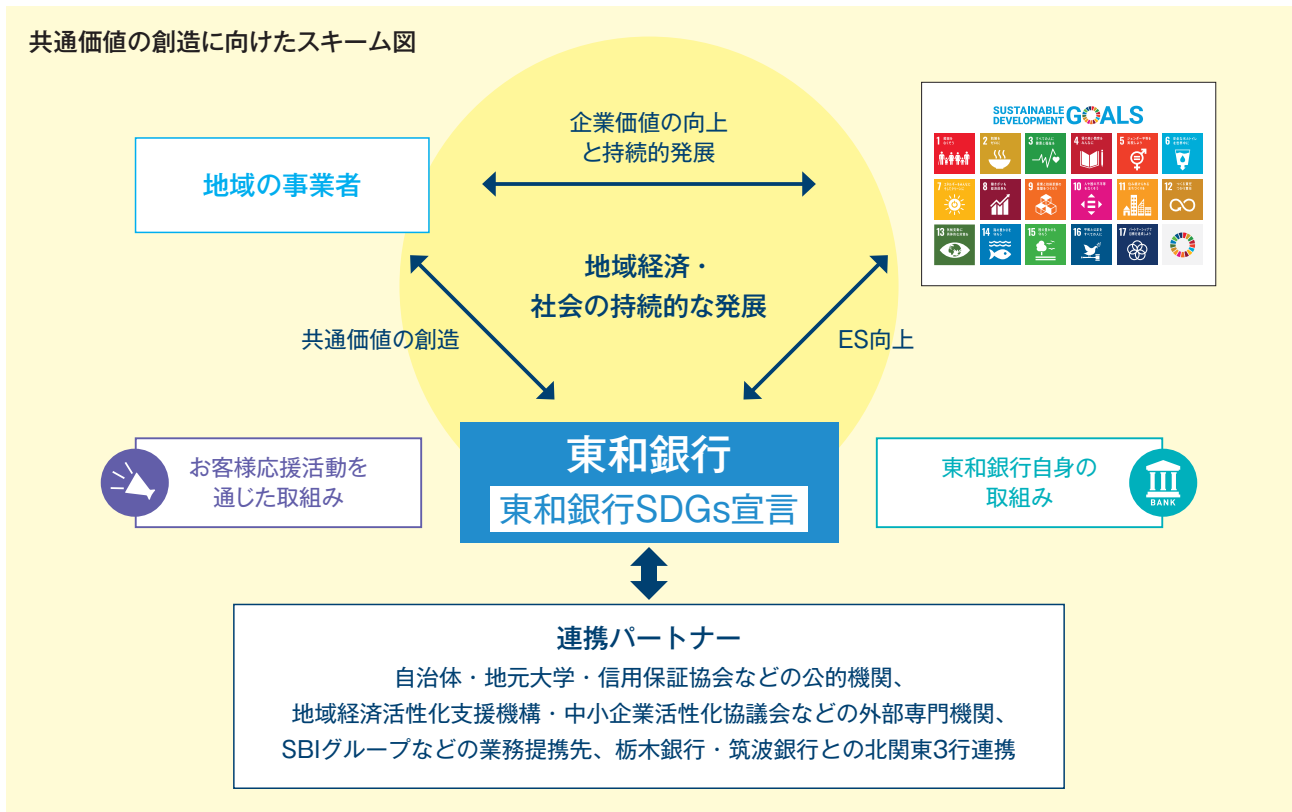


SDGs/ESGへの取り組み

当行は、TOWAお客様応援活動の実践により、お客様の事業拡大や地域における雇用創出などお客様の企業価値の向上に取り組むことで、当行の収益力の向上を図る、言わば「共通価値の創造」をビジネスモデルとしており、これは地域経済・社会の持続的な発展を図るという観点からSDGsそのものであると考えております。

当行のSDGsに対する考え方や積極的に取り組むセグメントについては、平成31年4月に「東和SDGs宣言」制定しており、この宣言に基づきSDGsの達成に向けた諸施策を実施してまいります。



東和銀行が積極的に取り組むセグメント



お客様応援活動を通じた取り組み

- 本業支援による事業拡大、雇用創出、経営合理化等
- ESGに関する本業支援
例) 再生可能エネルギー、障害者雇用等
- SDGs宣言書の策定支援
- ESG 地域金融促進事業
- SDGs 私募債
- 事業承継・M&Aによる事業継続

東和銀行自身の取り組み

- 気候変動への対応
- 地元大学（群馬大学・高崎経済大学等）での講座の開講
- プラチナくるみん 認定の取得
- えるぼし認定の取得
- 健康経営優良法人認定の取得
- 尾瀬環境美化運動
- TOWA 県民文化講座
- 東和よいこ劇場
- ぐんまマラソンのボランティア





お客様応援活動を通じた取組み

東和銀行は、お客様の事業や製品におけるESG要素に着眼した本業支援や、SDGs/ESGに関する理解と実践を目的としたセミナー開催、学校や自治体、自然保護団体等に対してSDGs私募債などの取組みを行っております。

■ 東和SDGs私募債

地域経済・社会の持続的な発展に貢献する企業への円滑な資金供給手段として、学校や児童福祉施設、自然保護団体、病院等に対して、発行額の0.2%相当の寄付・寄贈を選択できる「東和SDGs私募債」を取扱っております。これまで、56件7,600百万円の発行を行っています。



■ 東和地域活性化ファンドの活用

令和3年10月、東和地域活性化ファンドの第3号案件として、(株)SANU Ouryo-chi に対する投資を行いました。本事業は、東京都心からほど近い自然豊かな地域に木造キャビンを建て、登録会員に貸し出すサブスクリプションサービスを提供する(株)Sanuが、群馬県を代表する観光リゾート地域である北軽井沢エリアにある「王領地の森」内で、本投資先を通じて運営するものです。本投資は北軽井沢エリアの「滞在環境整備」や「地域の魅力発信」に資する事業であるだけでなく、地域の飲食・アクティビティ事業者等との連携や雇用の創出など、同地域の活性化に繋がるものです。当行は、本ファンドを通じて、地域活性化に役立つ成長資金の供給に取り組んでおります。



東和銀行自身の取組み

東和銀行は、地元大学との連携による教育活動や、女性活躍促進、仕事と育児の両立支援に積極的に取り組んでおります。また、地域文化の向上や環境保全事業など、地域に根差したCSR（企業の社会的責任）活動にも積極的に取り組んでおります。

■ 地元大学との連携による教育活動

社会貢献活動の一環として、群馬大学及び高崎経済大学において、頭取をはじめとする当行役職員が講師を務める講義を行っています。大学教職員による講義とは異なり、実際に金融業務に携る現場からの視点を踏まえたものであり、受講者の関心も非常に高く、また、正式な単位の取得が可能なものとなっており、全国でもユニークな取組みとしてご好評をいただくなど、地域における金融リテラシーの向上に貢献しております。



群馬大学での延べ受講者数

1,480名

平成25年

令和4年

高崎経済大学での延べ受講者数

27,765名

平成27年

令和4年

「東和銀行SDGs宣言」「東和銀行が積極的に取り組むセグメント」については、下記URLおよびHPをご参照ください。

URL : <https://www.towabank.co.jp/whatstowa/sdgs.html>

